

校長のひとりごと7

「心に移りゆくよしなし事をそこはかたなく書き作れば…」

校長の内田です。6月もう下旬です。早いです。毎日、「あっ、もうこんな時間か…」という感じです。気が付くと1日が終わって、次に気が付くと1週間が終わって、また次に気が付くと1か月が終わって。あっという間に夏休みになりそうです。「今日は何をしたんだろう…」と思う日も多くて。困ったものです。

## ぜんこうりつてん 全公立展

先週の土曜日はパシフィコ横浜で「全公立展」が行われました。全公立展とは、神奈川県内で高校受検を実施する全ての公立高校が集まるイベントです。参加校は学校単位（一部は地区単位）にブースを構え、学校の職員、現役の高校生らがそれぞれの高校の特徴や特色について紹介を行います。学校行事や部活などの説明のほか、資料の配布や資料の展示などを実施します。さまざまな高校の「生の声」を一挙に聞けるのが特徴です。（本校はGTECと授業があったので生徒は参加できませんでした。）主に中学3年生とその保護者を対象とした進学に関するスタートアップイベントです。

平成30年度の入場者数が39,000人。令和元年は、雨にも関わらず38,000人でした。待ち時間も時間帯によっては1時間30分以上あったみたいです。大盛況でした。

ところで、神奈川県立高校は何校あるか知っていますか？正解は143校です。県立中等教育学校が2校あります。合計145校です。ちなみに横浜市立高校が7校、川崎市立高校が5校、横須賀市立高校が1校あります。相模原市は政令指定都市なのに市立高校はない…なんででしょ？

市立高校は別にして、県立高校は基本的にはどの学校にも受検することができます。そんな数多い学校から自分にあった学校を探すのは大変ですね。私が高校受検するところは「学区」があって、行ける学校数も決まってきましたから、そんなに悩むこともありませんでした。家から一番近い学校を選びました。安易でした…（笑）

来場者が多い地区はやっぱり地元の横浜地区でしょうか？地区ごとに各校のブースがまとまっているんですが、相模原地区は入場口より一番遠くの端。最初のころは横浜地区のエリアは人ばかりで、相模原



ちく 地区はややかんさんとしてました。そんななかでも少しずつ人が増え始め、橋本高校の先生たちは一生懸命に学校のいいところを存分にアピールしてくれました。たくさんの方々にご質問を受けました。その数、約600人。橋本高校に興味を持ってもらってとても嬉しいです。

質問が多かったランキング！（私の主観です。）

### 第1位 武道教育

男子の剣道、女子の居合道は体育の授業で3年間行います。うちの学校には剣道8段の先生が二人もいます。5段、4段の先生も。こんな学校は神奈川県でもないと思います。居合道の有段者も先生に多数います。女子の居合道は白袴を着て、模擬刀での演武は授業といえど、壮観です。鳥肌が立ちます。生徒たちは武道教育を通して礼儀正しさを相手を敬う気持ち、落ち着きなどを学んでるんだと思います。

### 第2位 国際理解教育

国際理解教育の一環として、姉妹校交流を行っています。相手校はアメリカ・アラスカ州のレイスロップ高校、韓国の蚕室（チャムシル）高校です。交互に訪問します（今年度の蚕室高は都合で中止になりました。）。ホストファミリーと約10日間、充実した日々を過ごします。

### 第3位 部活動

部員は何人いますか？合宿はやりますか？強いですか？顧問の先生は？など、様々な質問がありました。

### 第4位 制服、ネクタイ・リボン

「制服かわいい〜」との声もたくさん聞かせてもらいました。ありがとうございます。リボン・ネクタイのバリエーションについてもたくさんの質問がありました。女子は4種類の中から選ぶことができます。



### 第5位 英語ができなくてはダメですか？

意外とこの質問も多かったです。できなくてはダメなんてことはありません。入ってからでも十分学べます。やる気次第！先生方は、丁寧に、細かく教えてくれます。

体育科の先生二人は、剣道着でアピールしてくれました。とっても目立ってました。来年は居合道着も着た方がよさそうです。

少しでも多くの方々に橋本高校を知ってもらえたでしょうか。これから始まる学校説明会にぜひ来てほしいです。全公立展だけでは橋本高校の魅力は伝えきれません。ぜひ、生の

せいと せんせい がっこう み  
生徒・先生、学校を見てください。

• おまけ

パシフィコ横浜の床はコンクリートです。1日立っていると結構疲労が溜まります。肉離れが完治していない私には辛かったなあ。顔は笑顔でしたが、足はピリピリ（笑）  
「内田先生～」と声をかけてくれた中学生の保護者。「わかりますか？」の一言。はい、すぐにわかりました。初任校の顧問をしていた部活動のキャプテンだった子です。（もう子ではありませんね。笑）約30年ぶり。こんな素敵な再開もありました。